

第25回石川県道路安全・円滑化検討委員会

日時：令和5年8月4日（金）10:00～12:00

場所：金沢河川国道事務所 2階大会議室

出席者名簿

公立小松大学 教授 高山純一委員長
金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋涼子委員
公益社団法人石川県観光連盟 副理事長（兼）専務理事
一般社団法人石川県タクシー協会 専務理事
一般社団法人石川県トラック協会 専務理事
公益社団法人石川県バス協会 専務理事
石川県婦人団体協議会 会長（代理）
中日本高速道路株式会社金沢支社 高速道路事業部道路管制センター交通管制課長
石川県警察本部交通部交通規制課長
北陸信越運輸局石川運輸支局長
石川県土木部道路建設課長（代理）
石川県土木部道路整備課長（代理）
石川県土木部都市計画課長（代理）
金沢市土木局道路建設課長（代理）
北陸地方整備局道路部道路計画課長（代理）
北陸地方整備局金沢河川国道事務所長（代理）

議事

- (1) 規約の改定
- (2) 交通渋滞
- (3) 交通事故対策

議事要旨

【1. 規約の改定】

- ・事務局の組織名称の変更について承認。

【2. 交通渋滞】

(1) 渋滞状況のモニタリングについて

- ・これまでの主な検討経緯や石川県の主要渋滞箇所、直轄国道の渋滞損失時間について報告。

(2) 主要渋滞箇所の見直しについて

- ・主要渋滞箇所の解除候補である「国道8号 加茂交差点」について承認。
- ・主要渋滞箇所の追加候補はなし。
- ・主要渋滞箇所を検証する評価区間を見直す検討を実施する旨について承認。

(3) ピンポイント渋滞対策について

- ・令和5年度対策予定の「国道157号 野々市交差点」と令和6年度対策予定の「国道8号 南中条西交差点」の対策内容について説明。

(4) TDM施策について

- ・令和5年のGW期のパーク&ライドの取り組みによる交通量の変化、利用促進・利便性向上に向けた今後の検討方針について報告。

(5) 主な意見

- ・野々市交差点のピンポイント対策について、右折車線の幅員2.5mで計画されているが、大型車両の通行に余裕のある幅員にできないか検討すること。
- ・ピンポイント対策は即効性を求める対策であり、抜本的な整備内容は今後の課題としたい。
- ・令和5年GW期のパーク&ライド稼働率と金沢中心部の交通量（ほぼ横ばい）を考慮しても、県境部の交通量増加が大きいため、県境を跨いだ交通等の分析をしておくこと。
- ・パーク&ライド駐車場のうち、利用率が低い駐車場について利用者増に繋がる利便性向上等の検討・分析を実施すること。
- ・外国人観光客の団体旅行（大型バス利用）が増加すると、南町付近の混雑悪化が懸念されるため、今後注視が必要。

【3. 交通事故対策】

(1) 第2期事故ゼロプランの効果対策評価について

- ・「事故データによる事故危険区間の評価」と「地域ニーズ等による事故危険区間の評価」とのそれぞれで評価項目を設定して評価する方法を説明し、対策効果の評価方法について承認。
- ・第2期事故ゼロプランで登録されている77区間について、対策効果の評価を実施し、9区間は事故ゼロプランから除外、68区間は、引き続き、令和5年からの第3期事故ゼロプランに登録されることで承認。

(2) 第3期事故ゼロプランの事故危険区間について

- ・今回、最新の事故データや道路利用者アンケートを踏まえ、事故データによる事故危険区間として新たに15区間、地域ニーズ等による事故危険区間として新たに3区間を事故ゼロプランに登録することで承認。
- ・第2期事故ゼロプランからの継続箇所68区間を含め、第3期事故ゼロプランとして、合計86区間を登録することについて承認。

(3) 主な意見

1) 国道159号の橋場交差点について

- ・今年3月に歩車分離式信号としたので歩行者との事故は減少すると思われる。引き続き、道路管理者において追加の事故対策や円滑化対策の検討をお願いしたい。
- ・交差点をコンパクトにできないか。広くて危険である。
- ・武蔵交差点方向から兼六園下交差点方面へ右折する際、夕方が特に混雑している。
- ・今後の方針として、事務局にて、交差点のコンパクト化や武蔵交差点方向から兼六園下交差点方面への右折車線の事故対策や円滑化対策などを今後検討する。

2) その他

- ・アンケート調査の広報は、記者発表や道路情報板、関係団体への周知などを今後も継続的に実施すること。